

とつてつけられたと伝えられる。

また近くに人喰坂という場所があり、頼房公が通りかかった時、何十びきものオオカミに出あい大変こまりはてしてしまった。その時、滝村に小田桐新左義照という豪猛な人があり、オオカミを退治したという。これが認められ、水戸様の家臣になったと伝えられる。

この小田桐新左義照の弟に義明なる者がいたが、滝村に残り、代々勝右衛門を名のり続けている。小田桐家は水戸に墓があるという、鈴木家の先祖だと伝えられる。

(話者 鈴木 明)

正月に小豆を食べない内山家

《小 中》

小中の内山家一族は、正月に門松のあるうちは、あづきを火にかけることはしない。

由来に、昔、小中館主内山伊勢守は正月のあづきを煮ている時、伊達政宗に攻めこまれたが、その時、内山一族は赤飯を食べずにかくれ住み、助かった。

それから小中内山家一族は門松のあるうちはあづきを食べない。今でも、正月にはキナコ餅かイゴマ餅を食べる正月を祝う。

(話者 内山正雄)